

# あさひ区防災

号外 2019年 6月 最新保存版

## 風水害編

※この保存版は、5月号保存版の内容に誤りが  
あったため、修正・再発行したものです。



2018年9月末に発生した台風24号では、区内において停電が約4,500軒、屋根の剥離や窓ガラスの損傷、倒木などの被害が200件以上も計上されました。日頃からの備えが重要です。

問 総務課危機管理・地域防災担当 ☎ 954-6007 ☎ 951-3401

▼A4に折り畳んで、防災グッズと一緒に保管しよう！▼

ヤマオリ

ヤマオリ

ヤマオリ

### もしものための いつもの備え

- ハザードマップを活用し、洪水などの自宅周辺の災害の危険性を確認しておきましょう。
- いざ屋外へ避難する際の必要最低限の持ち出し品を用意しておきましょう。
- 情報収集のために、横浜市防災情報Eメールや防災アプリなどを事前登録しておきましょう。

#### 事前に登録して防災情報を集めよう

##### 横浜市防災情報Eメール

地震、津波、気象警報・注意報、河川水位、緊急なお知らせなどを配信します。

##### 【登録方法について】

下記メールアドレスへ空メールを送信すると登録案内メールが届きます。  
entry-yokohama@bousai-mail.jp



##### Yahoo! 防災速報

横浜市からの防災緊急情報を配信します。

##### 【利用方法について】

スマートフォンから利用できる「アプリ版」をダウンロードするか、パソコンや携帯電話から利用できる「メール版」に登録してください。  
<https://emg.yahoo.co.jp>



##### あさひ安全・安心かわら版

区役所から区民の皆さまの携帯電話などに区内の防災・防犯情報をメールで配信します。

##### 【配信される内容や登録方法について】

[https://www.city.yokohama.lg.jp/asahi/kurashi/bosai\\_bohan/saigai/kawaraban.html](https://www.city.yokohama.lg.jp/asahi/kurashi/bosai_bohan/saigai/kawaraban.html)



#### 非常持ち出し品チェックリスト

##### 貴重品

免許証・保険証 現金・預貯金通帳 印鑑



##### 情報収集用品

懐中電灯 携帯ラジオ



##### 食糧

飲料水(1人1.5リットル程度) 非常食  
紙皿・紙コップ



##### 日用品

眼鏡・コンタクトレンズ ビニール袋  
ティッシュペーパー・ウェットティッシュ  
ヘルメット 軍手 常用薬・救急医薬品  
タオル マスク 厚底の運動靴



##### 赤ちゃん

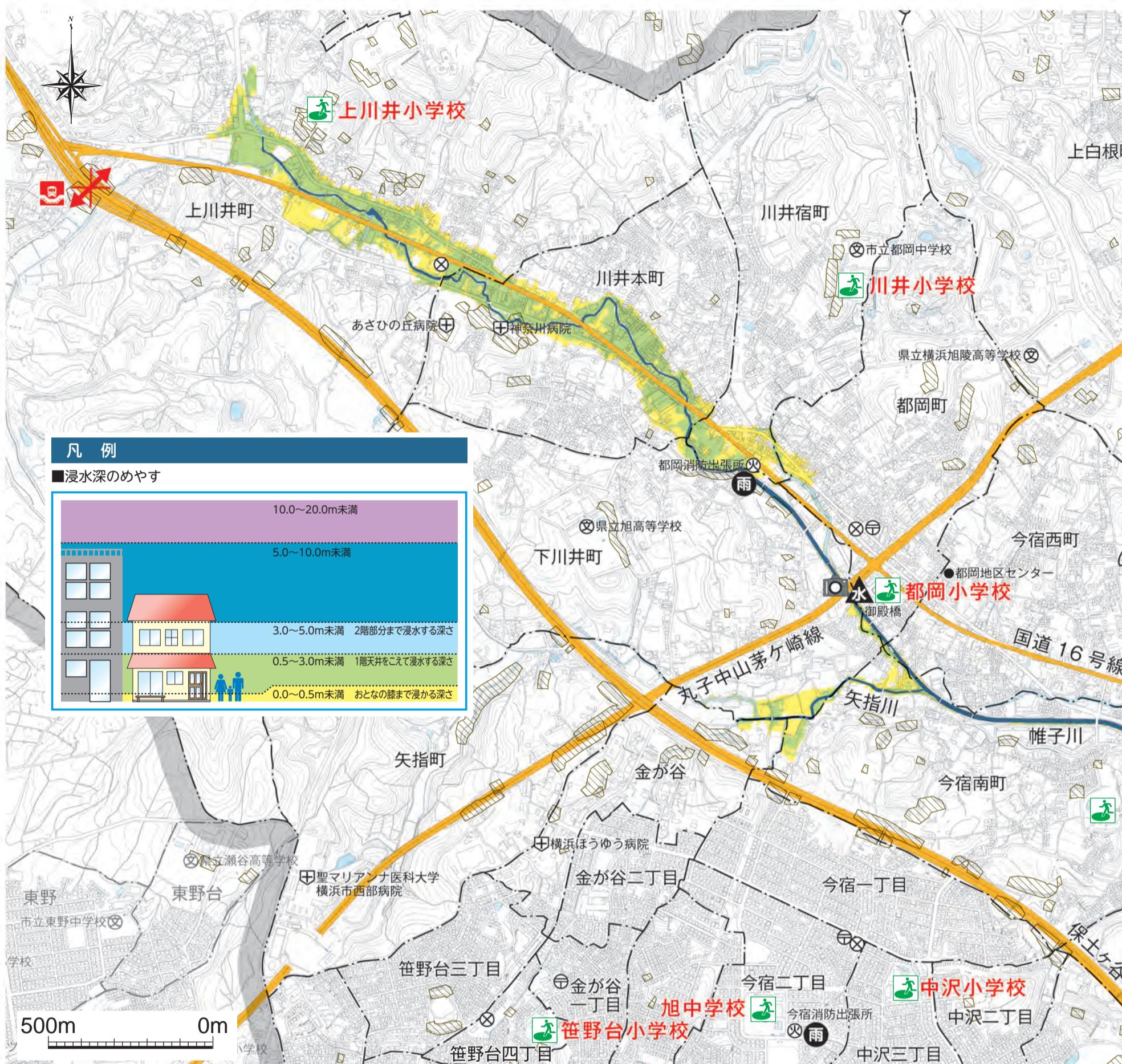
着替え 紙おむつ お尻拭き  
ミルク・離乳食



##### ペット

ペット用のお薬 ペットフード  
トイレ用品 キャリー・リード





## 避難する際に注意する箇所

	アンダーパス	大雨時に雨水が急激に集中し、冠水して安全な通行に支障をきたす恐れがある場所 ※進入すると危険なため、冠水時の通行は控えてください。
	急傾斜地崩壊危険区域	崖崩れにより相当数の居住者等に危害が生ずる恐れがある急傾斜地と、崖崩れが助長・誘発されないようにするために切土・盛土などの一定の行為を制限する必要がある土地で、急傾斜地法に基づき神奈川県が指定する区域
	土砂災害警戒区域	急傾斜地の崩壊が発生した場合に、住民の生命または身体に危害が生ずるおそれがあり、土砂災害への注意が必要であるため、土砂災害防止法に基づき神奈川県が指定する区域

## お問い合わせ先（平常時）

お問い合わせ内容	取り扱い部署
地域防災・避難等について	旭区役所総務課
人命救助・救急について	旭消防署
道路・下水道・公園について	旭土木事務所
がけについて	横浜市建築局企画部建築防災課がけ
河川	浸水想定区域全般について
	神奈川県県土整備局河川下水道部河川
	県管理指定区間の河川について※1
	神奈川県横浜川崎治水事務所
	河川法準用河川などについて※2
	横浜市道路局河川部河川管理課
	洪水ハザードマップ全般について
	横浜市総務局危機管理室地域防災課

※1 帷子川(分水路を含む)、中堀川

※2 新井川、くぬぎ台川、矢指川

-----	市区界	-----	高速道路・有料道路
-----	町丁目界	-----	主要道路
-----	J R 線・駅		指定緊急避難場所
-----	私鉄線・駅		雨量観測所
	河川監視カメラ		水位観測所

# 旭区洪水ハザードマップ 洪水浸水想定区域(計画規模)

※一部抜粋



この地図は旭区洪水ハザードマップの帷子川周辺を中心として抜粋しています。全体版は旭区ホームページからご確認ください。また、区役所2階24番窓口でも配布しています(お渡しできる部数には限度があります)。

[旭区洪水ハザードマップ](#) 検索

## 帷子川水系河川

帷子川、矢指川、中堀川、新井川、くぬぎ台川、  
帷子川分水路

洪水浸水想定区域(計画規模)の範囲や 浸水の深さはどうやって決めたの?	
連絡先	954-6007
	951-0119
	953-8801
防災担当	671-2948
河川課	210-6479
	411-2500
	671-2855
果	671-3454

## 指定緊急避難場所とは?

洪水や土砂災害、高潮、地震などの切迫した災害の危険から一時的に逃れるための場所で、地域防災拠点である市立学校などが指定緊急避難場所に指定されています。

指定緊急避難場所は、災害時、避難勧告等が発令された場合に開設しますが、すでに浸水が始まっている場合には無理に移動せず、浸水していない近くの高いところへ一時的に避難してください。

\*災害規模や状況によって判断するため、すべての避難場所を開設するわけではありません。

また、その他地区センターや地域ケアプラザ、自治会町内会館などを避難場所とし、開設する場合があります。避難する際は、横浜市ホームページ、横浜市情報Eメール、Yahoo!防災速報、広報車などから避難情報を入手・確認しましょう。

洪水浸水想定区域(計画規模)の範囲や  
浸水の深さはどうやって決めたの?

洪水防御に関する計画の基本となる**年超過確率1/100(100年間に1度起こりうる確率)**の降雨に伴う洪水により、帷子川水系の河川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションしたものです。

\*年超過確率1/100の降雨は、1時間で約93mmの雨が降った場合を前提としています。

\*この洪水浸水想定区域は、前提となる降雨を超えるような大雨、下水道からの浸水、水路の氾濫などを考慮していませんので、**着色されていない区域でも浸水が発生する場合や、実際の浸水深と異なる場合があります。**

# 風水害時の防災情報等の流れ

## 気象情報

### 強い雨

傘を差していてもぬれてしまうほどの土砂降り。側溝や下水などがあふれる。

### 激しい雨

バケツをひっくり返したような雨。道路が川のようになる。

### 猛烈な雨

息苦しくなるような圧迫感がある。大規模な災害が発生する恐れが強い。



## 注意報・警報

### 大雨・洪水注意報

大雨・洪水により災害が起こる恐れがある

### 大雨・洪水警報

大雨・洪水により重大な災害が起こる恐れがある

### 土砂災害警戒情報

大雨による土砂災害の危険度がさらに高まったとき

### 大雨特別警報

大雨により、重大な災害が起こる恐れが著しく大きい場合

## 事前準備

今後の気象情報などに注意し、万が一の避難に備えて非常持ち出し品を準備しましょう。  
(非常持ち出し品は1ページをご覧ください)

## 避難準備・高齢者等避難開始

お年寄り、子ども、障がいのある人、病気の人など、避難に時間の要する人は、避難行動を開始してください。

## 避難勧告

安全な場所へ避難を開始してください。  
※緊急速報メール配信

## 避難指示(緊急)

まだ避難行動をとっていない人は、直ちに避難を開始してください。

### 土砂災害警戒情報発表時には緊急速報メールが配信されます

土砂災害警戒情報が発表されたときに、がけ崩れの危険などを伝えるため、神奈川県から対象地域に緊急速報メールが配信されます。さらに横浜市から、土砂災害警戒情報の発表とともに事前に定めた区域(即時避難勧告対象区域)に避難勧告を発令し、そのことを緊急速報メールで配信します。対象区域については日頃からホームページで確認しましょう。

※緊急速報メールは、事前登録不要のメールです。※旭区役所では、緊急速報メールが配信された場合、「あさひ安全・安心かわら版」にてお知らせいたします。「あさひ安全・安心かわら版」の登録方法については、1ページをご覧ください。※旭区内において、避難勧告の発令対象区域となる即時避難勧告対象区域は、2019年4月時点ではありません。

---タニオリ---

タニオリ

タニオリ

## このサインを見逃すな！

### ・下水道などからの浸水

### ・河川の氾濫情報

※テレビやラジオ、横浜市ホームページなどで気象情報や河川の情報を確認しましょう。

※側溝やマンホールから水が溢れてないか外の様子にも注意しましょう。

### ・土砂災害の前兆

- ・小石がパラパラ落ちてくる
- ・斜面に湧水が発生
- ・斜面に亀裂が発生

### ・避難勧告、避難準備・高齢者等避難開始などの避難情報発令

## 避難行動

### 1.水平避難

指定緊急避難場所などの避難場所、近くの高台や土砂災害警戒区域外の知人宅などへ避難



水平避難

### 2.垂直避難

堅牢な建物の2階以上または、近隣の高い建物へ避難



垂直避難

### 3.屋内避難

夜間や危険が差し迫っている場合など、屋外へ避難とかえって危険な場合の避難

(例)自宅のがけの反対側のなるべく高い階の部屋



屋内避難

道路が冠水している状態で屋外に避難すると、マンホールなどが外れている場合もあるので危険です。日頃から屋外避難経路の確認をするとともに、有事の際は気象情報と自宅周辺の様子を確かめ、少しでも外に出るのが危険だと感じたら屋内避難に切り替えるなど、柔軟な避難行動を選択してください。

